

第3回議会報告会での意見 執行部の見解は

8月に開催した第3回議会報告会の中でいただいた意見のうち、執行部の見解が必要なものは、執行部に見解を求めています。

今回、その回答が提出されましたので、一部をご紹介します。出された見解や取り組みの推移などは、議会として今後も注視していきます。

※出された見解はホームページにも掲載しています。

【質】 NHKの夕方の番組に「こちらケールテレビ」というコーナーがあるが、豊後大野市の情報は一度も見ることがない。なぜ放映されないのか。

【答】（情報推進課） 当番組は、NHKから市町村や民間ケーブルテレビ局へ提供依頼があつて初めて放映されますが、本市は、今のところそれがない状況です。

【質】 土師地域は過疎地域で、民家も分散している。そのため、急病の際の対応として、ドクターヘリが着陸で

きる場所を地域に3カ所ほど整備していただきたい。

【答】（消防本部） 現在、土師地域の直近のドクターヘリ着陸場は師田原ダム堰堤となつています。

ご意見のように、着陸場3カ所の整備は地形的にも厳しいことから、中土師公民館横の空地をドクターヘリ運航管理局へ提案し検討していただいたところです。

その結果、周囲及び進入離脱経路上に送電線が近いこと、民家が近いことなどから着陸場としての設定はできないとのことでした。



しかし、当地域に着陸場が設定されていないことを考慮し、中土師公民館横の空地を「機長判断で離着陸可能な場所（直近扱い）」として使用させていただくことになりました。

つきましては、ヘリコプターが離着陸する際は地面が砂地であることから、ダウンウォッシュ（ヘリ離着陸時の強風）による影響等を、地域住民の方々にご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

中土師公民館現地の状況

- ・ 離着陸場の広さが基準を満たしていない。
- ・ 周囲及び進入離脱経路上、送電線が近い。
- ・ 民家が近い。

【質】 犬飼中心部から犬飼インターに乗り込む際、大分方面は乗り込みづらい。国土交通省に要望してほしい。

【答】（建設課） 国道57号犬飼バイパス犬飼インターチェンジの合流部改良は、平成27年11月17日に国土交通省佐伯河川国道事務所の所長へ要望書を提出し、要望活動を実施予定です。



【質】 定期健診で特別に血液に関して検査することができると、それとも一般的な診療のみであるのか。

【答】（市民病院） 血液内科の診療は、木曜日の午後（予約制）に一般的な診療を行っています。

【質】 大野町と朝地町は、プラ
の収集が月曜日、1回。月
曜と日曜が重なる祝日、重
なつて今週は来ない場合、
冬場はいいですが、夏場は
臭気が発生します。なんと
か曜日を変える方法はない
でしょうか。検討願います。
4月下旬から5月初めのほ
う、連休。日曜とか月曜と
か重なるとき、どうかする
と3週重なるときもあるの
で、臭気発生する場合があ
るので衛生上よくないとい
うことで……。



プラごみはきれいに洗おう

【答】（環境衛生課） 可燃ご
みの収集は、合併以前に住
民からの要望があり、他の
曜日の祝祭日は、毎年変わ
るが、月曜日の祝祭日は、
毎年固定されており、不公
平感があること、また、臭
気等の衛生上の問題も懸念
されることから、月曜日の
祝祭日の収集業務を行って
います。（月曜日が可燃ご
み収集日の地域は、三重町・
清川町・緒方町の一部）
しかし、プラスチックは、
家庭ごみ・資源物の分け方・

出し方、「プラスチックは
ごみではありません。きれ
いに洗ってリサイクルしま
しょう」と市民に周知して
おり、プラスチックから衛
生上の問題が発生するもの
ではないものと捉えていま
す。
排出されるプラスチック
から衛生上の問題が発生す
るのであれば、そもそもプ
ラスチックとしてリサイク
ルができないものであり、
今一度、きれいに洗って「リ
サイクル」の考えを市民に
周知しなければならないと
考えます。
従いまして、プラスチッ
クの収集業務は、現状のと
おり実施し、ご理解とご協
力をお願いします。
なお、2週連続でプラス
チック収集の月曜日が祝祭
日になった場合は、自宅で
の保管場所確保などから収
集計画の見直しも検討しな
ければならないものと考え
ます。

議会活性化委員会 議員定数の調査結果を報告 ～平成28年3月定例会で結論～

議 議会活性化委員会
は5月1日の委員
会の構成替えにより、新
たな委員構成となり、こ
れまで8カ月間、計16回
の委員会を開催し、議会
改革並びに議会の活性化
を調査研究してきました。

議会活性化委員会の議員
定数の結論は委員の総意
で、18人となりました。

今後、人口3万人を割
り込むなど、大幅な人口
減がない限りは当面は18
人で定数を固定させるこ
とが望ましいと考えてい
ます。

また、議会改革に取り
組む本市議会では合併時
と比較し常任委員会では
3倍の活動をしており、
全国の他市と比較しても
劣ることなく、充実した
活動がなされていると自
負しています。

そこで、県内他市並み
の政務活動費の支給と議
員報酬の増額をすべきで
あると結論付けました。
今後、議員定数は、全
員協議会や議会運営委員
会での協議を経て、3月
定例会で最終的な結論を
出す予定です。

類似団体との比較、将
来の人口予測、財政面、
常任委員会の運営面など
を総合的に勘案した結果、